

研究者プロフィール

機械工学科 Dept. of Mechanical Engineering —制御工学 Control Engineering—

中尾 哲也 NAKAO Tetsuya

研究業績 (論文・著書・その他の活動)



- [1] Compact High-Tc Superconducting Rotary Actuator Design :Proceedings 3rd International Conference Advantage Mechatronics (Other,1998)
- [2] Drive and Control of a Compact High-Tc Superconducting Linear Actuator Journal of The Japan Society of Applied Electromagnetics and Mechanics (Academic Journal ,1998) 6 / 3 , 48-55 (西暦年号)
- [3] Drive and Control of a High-Tc Superconducting Linear Actuator Proceedings of 8th ISEM, Elsevier (Other ,1998) / , 269-272
- [4] 小型高温超電導リニアアクチュエータに試作と制御 (Journal of the Japan Society of Applied Electromagnetics 6(3) pp.250-257 19980910)

近年、電子制御技術の目覚ましい発達によって機械制御の取り巻く環境は大きく変化しています。日本の省エネ技術は世界の最先端を行っていますが、これは機械を無駄なく上手に使えるような電子制御技術に支えられているといってもよいでしょう。私が取り組む研究では、機械を動かすための電子制御技術をうまく応用し、機械をより効率的に、より知的に制御する方法について研究しています。これは材料力学や機械工学といった機械の専門以外に、制御工学、電気電子工学、センサ工学等に精通してなければなりません。また一方で、新しい材料装置が開発され、これまで以上に機械を効率良く動かせるようになっているのも事実です。このような新しい技術を取り入れながら、よりよい機械制御の方法について模索しています。

研究分野キーワード

機械制御, 制御方法, マイコンプログラム, センサ